

# 社会の持続的な発展への貢献

地域の安全や安心、環境保全や活性化支援に取り組んでいます

## 社会貢献活動の方針

NEXCO西日本グループでは、高速道路の重要な社会インフラとしての役割を果たすとともに、以下の方針のもと、会社と社員が協力して積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

### 1. 社会貢献の目的

NEXCO西日本グループは、安全な暮らし、豊かな地球環境、安心と活力ある地域社会の実現に向けた取り組みを通じて、社会の持続的な発展に貢献します。

### 2. 活動方針

活動にあたっては、地域社会との対話と交流に努め、これまで培ったノウハウや資源を生かしてグループ丸となった社会貢献活動に取り組めます。

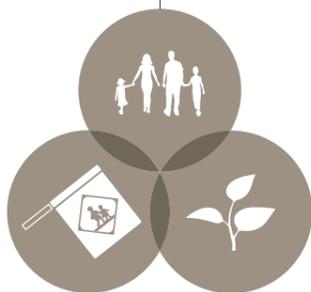
### 3. 重点分野

以下の3つの分野の活動に重点的に取り組めます。

## ③ 地域の元気

**【安心】** 私たちは、高齢者、児童、障がい者などの方々地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉など生活環境の均衡に資する活動に貢献します。

**【活力】** 私たちは、活力ある地域社会の自立的な発展のため、地域産業活性化や観光振興に貢献します。



### ① 安全

私たちは、地域の安全な暮らしを実現するため、交通安全活動、災害救援活動に貢献します。

### ② 環境

私たちは、豊かな地球環境づくりのため、地域の環境保全活動や道路事業に関連した環境技術の開発に貢献します。

## ① 安全への取り組み

交通安全啓発のイベント・講習会を開催しています

高速道路での事故原因や安全走行に関する知識・ノウハウを活かし、高齢者や子どもが地域で安心して暮らせるよう、管理事務所や高速道路事務所、SA・PAなどで、交通安全イベントや講習会を開催しています。

これらの活動には警察やJAFなどと協力して取り組み、高速道路で高齢者が遭遇しやすい事象や逆走事故、児童には車両の死角や制動距離などについて解説しています。



交通安全イベント

マッチングギフトによる災害義援金を寄付しました

大規模災害に対し、グループ社員の募金に会社からの寄付を上乗せするマッチングギフト方式にした義援金を、日本赤十字社や地方自治体を通して寄付しています。

2011年度は、台風12号で被災した和歌山県、奈良県に対し、延べ15,800名の社員からの募金額に当社寄付分を加えた計1,315万円を寄付しました。

台風12号被災地への義援金(2011年10月)

支援先	募金額(千円)		延べ参加人数(名)
	社員	会社	
和歌山県	3,374	3,300	7,900
奈良県	3,281	3,200	7,900
合計	6,655	6,500	15,800

「DRIVE&LOVE」プロジェクトを推進しています

NEXCO西日本では、「愛する人・愛してくれる人を想う気持ち」を原動力に、思いやりの心の輪を広げることで、交通事故ゼロを目指す「DRIVE&LOVE」プロジェクトに参画しています。

一般の皆さま・企業・著名人等多くの方々とのコミュニケーションを図りながら、さまざまな取り組みを推進しています。



## ② 環境への取り組み

「つなぎの森」で森林再生に取り組んでいます

地球温暖化の抑制、土砂災害の防止、動植物の生息環境保全などで重要な役割を果たす森林を再生するために、西日

各地の森林保全活動

地域	活動場所	自治体	面積(ha)
関西地区	つなぎの森「南紀龍神」	和歌山県	約11
中国地区	つなぎの森「とっとり西伯」	鳥取県	約5
	つなぎの森「ひろしま三原」	広島県	約15
四国地区	つなぎの森「四国いの町」	高知県	約35
九州地区	つなぎの森「湯布院」	大分県	約5
	つなぎの森「えびの」	宮崎県	約8

本各地の地方自治体と協定を締結し、森林保全に取り組んでいます。

2011年度は広島・高知・宮崎で、グループ社員が自治体や森林組合と植林や間伐を行いました。今後は他企業との協働も考え、地域での交流を深めていく予定です。

(注1) 2011年度中に、四国地区で協定を更新しました。  
(注2) 植林や間伐により、年間約40トン-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>が削減できた見込みです。



四国いの町(高知県)での間伐作業



ひろしま三原での植樹活動

## 担当社員コメント

NEXCO西日本 中国支社  
総務企画部 企画調整課  
西本 健亮



## 5年目を迎えた「つなぎの森」活動

2008年から取り組み始めた中国支社の「つなぎの森」活動は、5年目を迎えました。初年度に植えた苗木が順調に育ち、森づくりを通じて地域社会とつながりを深めることができたのは、ボランティアやスタッフの皆さまのご助力の賜物です。一つひとつは小さな力でも、多くの方が力を合わせることで、大きな社会貢献につながると考えています。

「つなぎの森」活動を未永いものにしていくためにも、今後は、自治体との包括協力協定を最大限に活用するなど、活動のさらなる魅力づくりに努めます。

※現在は、NEXCO西日本 高松工事事務所 さぬき工区

のり面の緑化・維持管理に地域の声を活かしています

高速道路ののり面については、沿線住民の皆さまの声を活かした維持管理活動に努めています。

2011年度は、沿線住民の皆さまによる植樹・草刈りや地元小学校の児童との花植え会を実施しました。こうした取り組みを通じて、景観美化や児童の環境教育などにも貢献しています。

## ③ 地域の元気への取り組み

職場体験や出張学習会を実施しています

料金所見学や料金収受業務体験、SA・PAでのエリア清掃やテナントでの商品管理など、小・中学生の職場体験を積極的に受け入れています。また、沿線周辺の小学校に対しては、出張学習会を実施。当社グループ社員が講師となって、騒音測定・免震実験などを織り交ぜながら、道路事業をわかりやすく説明しています。

2011年度は、高知高速道路事務所の見学、土成料金所(徳島県)での料金所業務や交通管理隊業務の体験学習、茨木管理事務所(大阪府)による小学生100名を対象とした出張学習会などを実施しました。



現場見学会で小学生に作業を説明

「ほんがえし・プロジェクト」により子どもたちの教育を支援しています

不要になった本を寄付することで、十分な学習の機会を得られない子どもたちの教育を支援する活動「ほんがえし・プロジェクト」に2011年度より賛同しています。

社内に回収箱を設け、社員が不要になった本を持ち寄ります。こうして、集められた本を定期的に寄付しています。

2011年度は、NEXCO西日本本社で約300冊の本を寄付することができました。



寄付をする本は、運送会社が回収

集められた本



## 社会の持続的な発展への貢献

### SS沖縄の社員らで構成するバンドが 震災支援チャリティーコンサートを開催しました

西日本高速道路総合サービス沖縄(株)の社員らが結成する「SS沖縄バンド倶楽部」では、25年にわたって地域に根ざした活動を展開しています。2011年度は、チャリティーコンサートを開催し、収益金を東日本大震災の支援に充てました。



チャリティー  
コンサート

### 地域イベントのPRに協力しています

地域と地域をつなぐ玄関口である料金所では、地域の自治体や観光協会と協働し、チラシの配布、イベントPRグッズの使用など、地域活性化の支援や地域交流に取り組んでいます。

今後は包括協定に基づき、こうした取り組みを他府県の自治体等とも連携して地域活性化に貢献していきます。

### 社員の社会貢献活動の支援・促進

#### 「ボランティア月間」を設け 社員の活動参加を奨励・支援しています

毎年2カ月間の「ボランティア月間」を設定し、講演会を開催したりボランティアに関する情報を提供するなど、社員の自主的な社会貢献活動を奨励・支援しています。

2011年は、2010年のアンケートの「家族や親子で参加したい」という意見を受け、ボランティア月間を10～11月から夏休みを含む8～9月に変更しました。期間中、社員は道路・河川などの清掃や、小学校でのスポーツ指導などに取り組みました。



ボランティア講演会(大阪ボランティア協会から講師をお招きして)

### 西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 による社会貢献活動

#### 産科医・助産師を目指す学生に奨学金を給付しています

医師不足が深刻化する中、「産科医師」が激減する地域が次々と目立つようになってきています。当倶楽部では、このよ

うな現状を踏まえ、2007年度から産科医師育成奨学基金を、2008年度からは助産師育成支援奨学基金を支援しています。

2011年度は、約50名の産科医学生、約25名の助産師学生に奨学金を給付しました。

#### 基金の詳細

名称	支援内容
産科医師育成奨学基金	医学部を有する西日本の大学から推薦を受けた医学部5～6年生を対象に年間100万円を2年間学資支援
助産師育成支援奨学基金	西日本の助産師学校に通う学生を対象に年間50万円を1年間学資支援

### 認可外保育施設を支援しています

すべての人が働きやすい環境づくりは、安心して子どもを生育てられる社会の実現に不可欠です。当倶楽部は、2009年度から西日本にある認可外保育施設への支援を実施しています。

1年目は「施設の改修・改良や備品の購入費」として100万円を上限とし、2年目は「職員や幼児の健康診断費用等の運営費補助」として25万円を上限として支援しています。一定の条件を満たす認可外保育施設に支援の内容・条件を説明し、支援を希望された施設すべてに支援金を給付しています。

2011年度は43施設(昨年度以前からの継続を含む)に支援を実施しました。

#### ステークホルダーコメント

大阪ボランティア協会  
影浦 弘司 様



#### 社員ボランティアを 奨励・支援する 企業風土の醸成に期待

NEXCO西日本とは日頃から、社員ボランティアの皆さまによる社会貢献活動などでご一緒させていただいています。2011年の東日本大震災や紀伊半島の台風12号による災害の際に、物資支援やボランティア派遣などの協働を迅速・円滑に進めることができたのも、こうした普段からの関係のおかげと考えています。

NEXCO西日本では、社員の自発性を活かしつつ組織的なボランティア活動を展開できるよう、ボランティア・リーダー研修も検討されていると伺いました。今後も、ボランティア精神にあふれた企業風土を浸透していかれることを期待しています。